

ヒアリング・現地訪問

2013.10.8

時期	研究代表者	研究グループ名	訪問した地域	ヒアリング対象または訪問先	ヒアリングまたは訪問の内容	web サイト	研究資金)	ヒアリング・現地訪問を行う上で直面した問題	地域住民、各種支援団体、自治体との間で生じたトラブル	内容 1)原発事故関連 2)それ以外 3)両方を含む	研究分野	連携先の名称	連絡先	その他のメッセージなど
1 2011年9月	工藤保則		宮城県仙台市、七ヶ浜町		宮城県仙台市、七ヶ浜町における震災後の観光復興状況について視察	なし	B			2		なし	工藤保則 kudo@soc.ryukoku.ac.jp	なし
2 2012年3月	南裕一郎		宮城県石巻市、女川町、南三陸町、気仙沼市、岩手県陸前高田市、大船渡市	日本カーシェアリング協会スタッフ3名、ボランティア支援ベース絆スタッフ2名、カーシェアリング利用者1名、万石浦仮設住宅住民2名、南三陸町歌津伊里前福幸商店街スタッフ1名 (被災および復興状況、政府・自治体の対応、カーシェアリングの利用状況についてヒアリング)	日本カーシェアリング協会、石巻市内仮設住宅において、被災住民のカーシェアリング・ボランティアの利用状況についてヒアリング	なし	B			2		なし	南裕一郎 minami@kpa.biglobe.ne.jp	なし
3 2012年3月	奥野卓司・久保田稔		宮城県石巻市、仙台市、名取市	石巻専修大学	石巻市、仙台市などで医療機関の復旧状況・提供状況と、被災者の医療機関へのアクセスのためのクルマ、バス利用の状況についてヒアリング	なし	B			2		なし	奥野卓司 okuno@kwansei.ac.jp	なし
4 2012年7月	加藤真義・高橋準		福島県福島市	福島県生活環境部 避難者支援課	福島県による県外避難者支援施策の現状と課題	なし	G			1		福島大学行政政策学類	加藤真義 mkato@ads.fukushima-u.ac.jp	なし
5 2011年6月	大内田鶴子	個人	宮城県南三陸町・七ヶ浜町	南三陸町役場、七ヶ浜町ボランティアセンター	挨拶のみ 被害状況の写真を写した	なし	G	なし	なし	2	A	なし	大内田鶴子 touchi@edogawa-u.ac.jp	なし
6 2012年3月5日	社会学3学会合同視察(代表 吉野英岐)	地域社会学会・日本都市社会学会・日本社会学会	岩手県釜石市・大槌町・宮古市	岩手県釜石市・大槌町・宮古市	釜石市鶴住居町の旅館経営者および釜石市役所職員に説明を聞く	<a href="http://soc4symposium.sakura.ne.jp/mt/first_website/leaflet02.pdf">http://soc4symposium.sakura.ne.jp/mt/first_website/leaflet02.pdf</a>	G			2		事務局 office@soc4symposium.sakura.ne.jp 岩手県立大学総合政策学部事務局		なし
7 2012年6月16日	社会学4学会合同視察	日本社会学会・日本都市社会学会・環境社会学会・地域社会学会	福島県いわき市・広野町	福島県いわき市・広野町	仮設住宅への避難者、役場職員に説明を聞く	<a href="http://soc4symposium.sakura.ne.jp/mt/first_website/42/">http://soc4symposium.sakura.ne.jp/mt/first_website/42/</a>	G			1		base@soc4symposium.sakura.ne.jp		なし
8 2011年10月	内田龍史		宮城県名取市	名取市役所職員	被災と復興に関するヒアリング	なし	H			2		なし	内田龍史 r_uchida@shokei.ac.jp	なし
9 2012年6月	内田龍史		宮城県名取市	名取市役所職員	被災と復興に関するヒアリング	なし	H			2		なし	内田龍史 r_uchida@shokei.ac.jp	なし
10 2012年11月	内田龍史		宮城県名取市	仮設住宅住民	コミュニティ意識と今後の展望に関する質問紙調査	なし	H			2		なし	内田龍史 r_uchida@shokei.ac.jp	なし
11 2012年10月	内田龍史		宮城県岩沼市	仮設住宅住民	コミュニティ意識と今後の展望に関する質問紙調査	なし	H			2		なし	内田龍史 r_uchida@shokei.ac.jp	なし

## ヒアリング・現地訪問

2013.10.8

時期	研究代表者	研究グループ名	訪問した地域	ヒアリング対象または訪問先	ヒアリングまたは訪問の内容	web サイト	研究資金	ヒアリング・現地訪問を行う上で直面した問題	地域住民、各種支援団体、自治体との間で生じたトラブル	内容 1) 原発事故関連 2) それ以外 3) 両方を含む	研究分野	連携先の名称	連絡先	その他のメッセージなど
12 2012年9月24日	日本学術会議社会学委員会「東日本大震災の被害構造と日本社会の再建の道を探る分科会」(委員長: 船橋晴俊)		(日本学術会議)	1. 福島県「とみおか子ども未来ネットワーク代表」 2. 海渡雄一(前日弁連事務総長、日弁連東日本大震災・原子力発電所事故等対策本部副本部長)	1. 3月11日以降の避難の状況、避難生活と各段階で直面した問題(高校進学に際しての福島県教育委員会の対応、健康問題など)、「とみおか子ども未来ネットワーク」を組織した目的、現時点での思い。 2. 原発事故災害と損害賠償による対応の限界・克服すべき課題。質疑応答	なし	D			3		なし		なし
13 2012年10月22日	日本学術会議社会学委員会「東日本大震災の被害構造と日本社会の再建の道を探る分科会」(委員長: 船橋晴俊)		(日本学術会議)	1. 福島県飯館村住民 2. 福島県大熊町住民 3. 福島県被災4自治体(富岡町、浪江町、大熊町、双葉町)の職員 4. 佐藤彰彦(福島大学つくしまふくしま未来支援センター・復興計画支援部門特任助教)	住民は、避難の状況、現在の現地の状況について報告し、質疑応答。 職員は、①避難の実態、②安全、③避難から生ずる問題、④避難の権利、⑤賠償に関する質問項目に回答し、質疑応答。佐藤彰彦氏は、住民参加、研究者のあり方などについてコメント。	なし	D			3		なし		なし
14 2011年8月～9月	遠藤洋二	災害ソーシャルワーク共同研究(遠藤洋二、野村恭代他)	宮城県、岩手県	被災地のソーシャルワーカー	震災発生時から現在に至るまで、どのような活動を行ってきたかについて、行政、施設、医療機関のソーシャルワーカーに各2時間ほどヒアリング。	なし	B	調査協力を得られるソーシャルワーカーが限定されている。	なし	2	F	関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学 福祉学	野村恭代 nomura@fuksi-kagk-u.ac.jp	被災地域全域を対象として調査を展開する予定です。
15 2012年11月	田間泰子	内藤恵美子	岩手県花巻市	お産と地域医療を考える会・陸前高田病院・椿精油所(開設準備中)ほか	過疎地域で被災した場合の妊産婦支援について	なし	C	なし	なし	2	A、C、F	<a href="http://oi-mono-senaka.blog.so-net.ne.jp/">http://oi-mono-senaka.blog.so-net.ne.jp/</a>	田間泰子 tama@hs.osakafu-u.ac.jp	なし
16 2012年7月	田間泰子	個人	岩手県盛岡市	インクルいわて	過疎地域で被災した場合の支援、特に母子家庭支援について	なし	C	なし	なし	2	A、C、F	<a href="http://inc-luiwate.blog.fc2.com/">http://inc-luiwate.blog.fc2.com/</a>	田間泰子 tama@hs.osakafu-u.ac.jp	なし
17 2011年5月7日～8日	岩井紀子	大阪商業大学教員(岩井紀子・田崎公司)	福島県西会津町・柳津町	西会津町町長・職員、浜通りから避難している住民、葛尾村職員	被災状況、避難状況、避難生活、支援体制についてのヒアリング。3月末にホノルルで開催されたAssociation For Asian StudiesとInternational Convention of Asia Scholarsの共同大会で集めた海外の研究者の寄せ書き(カラーコピー)を届けた。	<a href="http://jgss.dai-shodai.ac.jp/introduction/int_touhoku.html">http://jgss.dai-shodai.ac.jp/introduction/int_touhoku.html</a>	G	なし	なし	1	C、F	福島県西会津町	岩井紀子 n-iwai@tcn.zaq.ne.jp	なし
18 2012年1月27日～29日	岩井紀子	個人	宮城県塩釜市、石巻市、女川町	石巻市雄勝町の被災住民、ON THE ROADの支援者、女川町の被災住民・若者グループ・工場経営者。	H.I.S.とNPO法人ON THE ROADが企画・共催している「石巻★元氣トリップ」に参加。「花と緑の力で3.11プロジェクトみやぎ委員会」の活動に参加。被災・避難状況、復興に向けての活動、雇用状況について話を聞いた。	<a href="http://jgss.dai-shodai.ac.jp/introduction/int_touhoku.html">http://jgss.dai-shodai.ac.jp/introduction/int_touhoku.html</a>	G	なし	なし	2	C、E、F		岩井紀子 n-iwai@tcn.zaq.ne.jp	ドイツのSpiegel onlineが同行取材していた。 <a href="http://www.spiegel.de/reise/fernweh/japans-tsunami-touristen-katastrophenhelfer-aus-dem-reisebus-a-816040.html">http://www.spiegel.de/reise/fernweh/japans-tsunami-touristen-katastrophenhelfer-aus-dem-reisebus-a-816040.html</a>
19 2012年7月15日～7月16日	高橋征仁	個人	沖縄本島	沖縄じゃんがら会	フリーマーケットはびふる市におけるじゃんがら会の活動	なし	B	なし	なし	1	C、F	山口大学 人文学部	高橋征仁 takahasi@yamaguchi-u.ac.jp	なし

## ヒアリング・現地訪問

2013.10.8

時期	研究代表者	研究グループ名	訪問した地域	ヒアリング対象または訪問先	ヒアリングまたは訪問の内容	web サイト	研究資金)	ヒアリング・現地訪問を行う上で直面した問題	地域住民、各種支援団体、自治体との間で生じたトラブル	内容 1)原発事故関連 2)それ以外 3)両方を含む	研究分野	連携先の名称	連絡先	その他のメッセージなど
20 2012年7月 28日～7月 30日	高橋征仁	個人	沖縄本島	沖縄避難者、那覇商工会議所青年部、沖縄県庁	沖縄における避難生活と支援活動、支援制度について	なし	B	なし	なし	1	C、F	山口大学 人文学部	高橋征仁 takahasi@yamagu chi-u.ac.jp	なし
21 2012年9月 20日～9月 26日	高橋征仁	個人	沖縄本島	つなぐ光、おむすび市、教育委員会	民間団体による母子レスキュー活動の実態について、避難者の生活について	なし	B	なし	なし	2	C、F	山口大学 人文学部	高橋征仁 takahasi@yamagu chi-u.ac.jp	なし
22 2012年10月 5日～10月8 日	高橋征仁	個人	沖縄本島	沖縄じゃんがら会、沖縄福島県人会	沖縄における避難受入の経緯と当事者団体の立ち上げ、自主健康診断の経緯について	なし	B	なし	なし	3	C、F	山口大学 人文学部	高橋征仁 takahasi@yamagu chi-u.ac.jp	なし
23 2011年6月	遠藤薫	個人	東京	NNNDキュメント'11『津波にのまれた女将』制作チームのカメラマン・柳田氏、『ハマナスの咲くふるとに帰りたい』制作チームのカメラマン、その他	ドキュメンタリー制作者への「震災・原発事故を方ゾルことの難しさ」に関するヒアリング	なし	A	なし	なし	2	J	なし	遠藤薫 kaoru.endo@gaku shuin.ac.jp	なし
24 2011年6月	遠藤薫	個人	岩手県盛岡市	テレビ岩手、岩手日報、コミュニティFMなどローカルメディア	実際に何がおこったか、報道上の困難、課題などについてヒアリング	なし	A	なし	なし	2	J	なし	遠藤薫 kaoru.endo@gaku shuin.ac.jp	なし
25 2012年7月	遠藤薫	東何本大震災に対する価値観に関する実証的研究プロジェクト	宮城県石巻市、女川町	石巻市、女川町のボランティア、商店街役員など	復興に向けての課題などについてヒアリング	なし	C	なし	なし	3	E、F、J	なし	遠藤薫 kaoru.endo@gaku shuin.ac.jp	なし
26 2012年6月、 2012年8月	井上治代		宮城県石巻市	寺の僧侶、被災住民、家族を亡くした被災遺族		なし	A、B	なし	なし	2	J	東洋大学 東洋学研 究所	井上治代 inoueh@toyo.jp	なし
27 2011年8月	湯浅正恵		福島市、南相馬、浪江、飯館	現地視察	レンタカーで仙台から南相馬まで南下。そこから浪江、飯館をとおり福島市へ	なし	A	なし	なし	1				
28 2012年8月 27日	湯浅正恵		福島市	市民放射能測定所、野菜カフェはもる	市民放射能測定所の利用者や利用状況の変遷について	なし	G	なし	なし	1				
29 2011年6月、 11月	岡村圭子	個人	宮城県石巻市	石巻日日新聞社 1名	震災直後の状況および復興の現状、ローカル・メディアの今後のあり方についてヒアリング	なし	A、E	研究費使用にあたっての制限(被災地の調査にあたっては研究費からの支出対象とならない項目が多い)	なし	2	D、E、F	獨協大学 地域総合 研究所	岡村圭子	なし
30 2011年11月	岡村圭子	個人	宮城県石巻市	ピースポートセンターいしのまき 1名	震災後のボランティア活動と地元住民の情報行動についてヒアリング	なし	A、E	研究費使用にあたっての制限(被災地の調査にあたっては研究費からの支出対象とならない項目が多い)	なし	2	D、E、F	獨協大学 地域総合 研究所	岡村圭子	なし
31 2011年5月	田中重好	名古屋大学環境学研究所社会環境学地震・津波研究班(黒田由彦、高橋誠、黒田達朗)	宮城県女川町から福島県南相馬市にかけての地域	七ヶ浜町ボランティアセンター	被害状況についての視察、およびボランティア支援体制についてのヒアリング	なし	A、C	なし	なし	2	A、F	なし	黒田由彦	なし
32 2011年3月 ～ 2013年8月	金菱清	個人(東北学院大学震災の記録プロジェクト)	宮城県全域、岩手県宮古・大船渡・陸禅高田・釜石・大槌、福島県南相馬・相馬・飯館・福島市等	東北学院OGOBを中心に	それぞれ2・3時間のインタビュー	なし	A、B、C	とくになし	なし	3	A、B、 C、E	東北学院 大学救養 学部地域 構想学科	金菱清 soms9005@yah oo.co.jp	なし

ヒアリング・現地訪問

2013.10.8

時期	研究代表者	研究グループ名	訪問した地域	ヒアリング対象または訪問先	ヒアリングまたは訪問の内容	web サイト	研究資金)	ヒアリング・現地訪問を行う上で直面した問題	地域住民、各種支援団体、自治体との間で生じたトラブル	内容 1)原発事故関連 2)それ以外 3)両方を含む	研究分野	連携先の名称	連絡先	その他のメッセージなど

※1 研究資金(複数の研究資金の場合は、複数記入可)  
 A 大学からの個人研究費  
 B 学部・大学共通研究費  
 C 科学研究費  
 D その他の公的研究費: 文部科学省、厚生労働省、自治体  
 E 民間による研究費  
 F 「外部競争的資金」と言われるもので上記外  
 G 自費  
 H その他

※2 研究分野(複数選択可)  
 A 津波・洪水被害  
 B 放射能汚染  
 C 避難住民  
 D 防災行動・防災計画  
 E 復興計画  
 F ボランティア・支援活動  
 G エネルギー問題  
 H 理論  
 I 政治・政策  
 J その他